

## 船舶事故調査報告書

平成23年6月9日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 山本 哲也

委員 石川 敏行

委員 根本 美奈

事故種類	転覆
発生日時	平成22年5月3日（月、祝日） 12時00分ごろ
発生場所	福島県郡山市猪苗代湖舟津川河口沖 郡山市湖南町大字舟津字宮西3に所在の舟津三角点から真方位284° 150m付近 （概位 北緯37° 25.0′ 東経140° 07.3′）
事故調査の経過	平成22年5月6日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての操船者からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	手漕ぎボート（船名なし）、総トン数なし なし、個人所有 約2.35m×約1.18m×約0.37m、FRP 機関なし、不詳
乗組員等に関する情報	操船者 男性 59歳
死傷者等	死亡 1人（操船者）
損傷	なし
事故の経過	本船は、操船者が1人で乗り、平成22年5月3日11時30分ごろ猪苗代湖鱸浜付近を沖に向かって漕いでいるところを湖岸にいた観光客に目撃された。 湖岸にいた通報者は、12時00分ごろ、舟津川河口沖で転覆した本船と落水して叫んでいる操船者に気付き、見ているうちに操船者が水面下に沈んだことから、警察に通報した。 操船者は、警察及び消防の捜索により本事故発生場所付近の水深約5mの湖底で発見され、病院に搬送されたが、死亡が確認された。 操船者の死因は、溺水による窒息死であった。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 なし 海象：湖面 平穏、水温 約10.4℃
その他の事項	操船者は、平成22年4月に本船を購入し、釣りを趣味としていた。 本船は、錨の代わりに使用されると思われる砂利を入れた袋を積んでいた。 本船が転覆する状況は、誰も見ていなかった。 本船発見時、発見場所付近に釣り具が浮遊していた。 操船者は、ジャンパーとズボンを着用し、救命胴衣は着用していなかった。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 不明 不明 本船は、猪苗代湖舟津川河口沖において転覆し、操船者が落水したものと考えられるが、目撃者がいないことから、本船が転覆に至った状況を明らかにすることはできなかった。 操船者の死因は、溺水による窒息死であった。 操船者は、救命胴衣を着用していれば、死亡に至らなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が、猪苗代湖舟津川河口沖において、転覆したことにより発生したものと考えられる。	
参考	本事故の被害軽減策として、救命胴衣の着用が考えられる。	

※ 「参考」は、今後の同種船舶事故等の再発防止のために役立つと考えられる事項を列挙したものである。